

キャップ
CAP
おとなワークショップ
って？

- ・教職員向け
- ・保護者向け
- ・地域の啓発活動として

内容

- ・子どもワークショップ紹介
- ・暴力について ・人権について
- ・思い込みと事実について
- ・話の聴き方 ・エンパワメント など

時間

- ・幼稚園、保育園、小学校で実施の場合
…… 120分
- ・中学校で実施の場合…… 120分～150分

人数制限はありません。

おとなワークショップのみでも実施可能です。

CAPのなりたち

- 1978年 米国オハイオ州コロンバスの強かん救援センターでプログラム開発
- 1985年 森田ゆりにより日本に紹介
- 1995年 日本でCAPスペシャリストの養成が始まる
- 2001年 NPO法人CAPセンター・JAPAN 設立
当団体は正会員として登録

現在 世界12カ国に広がる。日本では160以上のCAPグループが活動中で、2007年5月までに
おとな・子ども 約260万人が参加している。

当団体は、1996年より「CAP青い空」
としてワークショップの提供を
行ってまいりましたが、2003年12月に
「NPO法人 青い空—子ども・人権・非暴力」
として法人化いたしました。
今後は、以下のプログラムを提供いたします。

- CAPワークショップ
- セルフ・ディフェンス講座(女性版)
- 子ども育ち・人権・非暴力に関する講演会、
ワークショップ

各プログラムの実施について、
また活動内容に関心をお持ちの方は、
お気軽にお問い合わせください。

事務所開所日は、月・木曜日(祝日を除く)
12～18時です。

月曜祝祭日の場合は翌火曜日

NPO法人 青い空—子ども・人権・非暴力
TEL : 080-4320-4843 FAX : 03-6740-7718

〒173-0014

東京都板橋区大山東町24-16 502号室

<http://www.npo-aoisora.net>

2021.9.15

子どもへの暴力防止プログラム

Child Assault Prevention

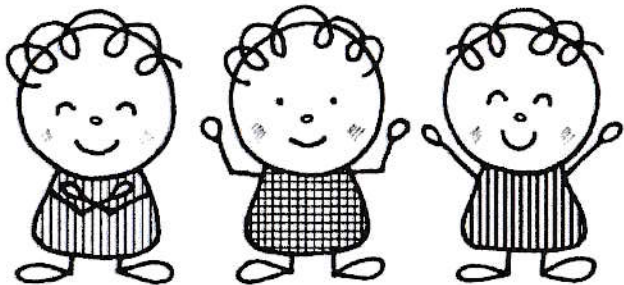


～子どもが自分の心とからだを
大切に生きていくために～

特定非営利活動(NPO)法人
青い空—子ども・人権・非暴力

キャップ
**CAP子ども
ワークショップ
って?**

大切な3つの権利
(人権意識を育てる)



安心
SAFE

自信
STRONG

自由
FREE

エンパワメント

その人自身が本来持っている力を引き出すことです。子どもワークショップでは、子ども達の本来持っている力を信じ、その力を充分発揮できるように働きかけをしています。

人権意識

「自分を大切だと思う気持ち」=自分には権利があると意識すること。「自分を大切」と思う気持ち「他の人も大切」にすることにつながります。

暴力 (安心・自信・自由が奪われるとき)

自分を守るためにできること

いじめ



● CAPでは、暴力に対して子ども自身がどう自分を守ることができるのか、ロールプレイ (役割劇) や 対話を通して子どもと一緒に考えていきます。

誘拐



性暴力



● 今までの「～しなさい」「～してはいけません」といった、子どもの行動を規制する予防と異なり、行動の選択肢を増やすことで暴力を防止をしようとする方法です。

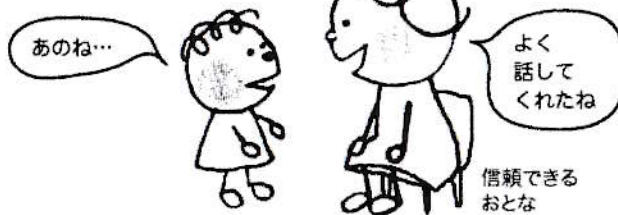
NO 「いや」と言う



GO 逃げる (その場にいらない)



TELL 誰かに話す



この他にこんなことも体験します。
《安全な距離のとり方》《簡単な護身術》
《特別な叫び声》《友だちと助け合う》

未就学児 … 50分×3日・定員15名
小学生 …… 90分×1日 (1年生1学期は45分×2日)
定員25名 またはクラス単位

いじめ・誘拐 (就学前は人形劇)・性暴力

中学生 …… 130分×2日
定員30名 またはクラス単位

いじめ・性暴力・体罰・自分らしさ・話の聴き方

上記の時間は ワークショップ (参加体験学習) と
トークタイム (復習時間) の 合計時間です。

* 子どもワークショップ実施の際には、おとなワークショップの実施が必要となります。

* CAPプログラムの著作権は ICAP (New Jersey, USA) にありますので 模倣・実施することはできません。